

## 令和7年度第1回ふれあいバス運行検討分科会 会議録

開催日時	令和7年5月28日(水) 13時30分～15時30分
開催場所	印西市役所 会議棟 203会議室
出席者	刈谷高博分科会長、太田英寿委員、酒井保治委員、浦川真一委員、 三上達也委員、徳永敬委員、高倍宗一郎委員、板谷和也委員、伊藤章委員
事務局	交通政策課 本多課長、金井係長、杉山係長、渡邊主任主事
傍聴者	5名
協議事項	(1) ふれあいバス再編について(パブリックコメントの結果)
会議資料	1. 会議次第 2. 協議資料1 ふれあいバス再編(案)に関する意見公募手続の結果 3. 協議資料2 ふれあいバス運行ルート図

### 会議録(要約)

#### 1 開会

(事務局)

定刻となりましたので、ふれあいバス運行検討分科会を始めさせていただきます。

#### 2 課長あいさつ

(課長)

改めまして、皆様、こんにちは。本日は、お忙しい中、分科会にお集りいただきありがとうございます。本日の議題であります、ふれあいバスの再編につきましては、昨年度から協議を重ね、ふれあいバス再編案を作成し、令和7年2月25日から3月25日までを期間といたしましてパブリックコメントを実施したところでございます。

また、パブリックコメントにお寄せいただきましたご意見を基に公共交通としての継続性や令和7年度中の実現性などを踏まえ、運行事業者であります京成バス千葉セントラル株式会社と協議を重ね、市の対応案を作成いたしましたので、本分科会においてご意見をいただきたく、本日皆様にお集まりをいただいたところでございます。

後ほど、事務局より説明がございますので、ご審議いただきますようよろしくお願いいたします。

#### 3 会議録署名委員の指名

(委員)

本日の分科会長を務めさせていただきます刈谷と申します。皆様のご協力をお願いいたします。

それでは次第4、会議録署名委員に移ります。本日の会議の署名委員でございますが、「酒井委員」と「浦川委員」を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします。

#### 4 協議事項

(委員)

続きまして、次第4、協議事項に移ります。

協議事項（１）ふれあいバスの再編について事務局より説明をお願いいたします。

（事務局）

**【協議事項（１）協議資料１～２を事務局より説明】**

（委員）

事務局からの説明が終わりました。これから質疑に入ります。ご質問・ご意見等ございましたら、委員の皆様お願いいたします。

（委員）

非常に多くの意見が出ているということ、ポジティブにとらえました。バスに関心がない、もしくは乗らない方々が多ければ意見は少なくなる傾向がある中で、非常に良い結果であると思えました。これらの意見を見ていくと、対応が難しい意見もあれば、対応可能なものもあると思います。

これらを事務局で区別して、できることに関しては対応いただき、無理な部分については、元に戻すなどの配慮をいただいております、これらの対応に問題はないように感じております。

このまま対応いただいて問題ないと思います。

（委員）

それでは、私から何点か伺いたいと思います。

西ルートで当初、廃止予定であったバス停が何点かあったと思います。

こちらについては継続して利用されるとのことでしたが、次の改正の時まで一旦保留という形なのか、それとも引き続き運行するという形のどちらでしょうか。

（事務局）

今回のバス停の廃止を検討した視点として、まずは運行の安全を確保しているか、速達性を確保できているかと併せ、利用者数に着目して見直しをいたしました。

この度のパブリックコメントでは、継続した運行を希望する意見を多数いただきましたことを考慮して、継続といたしました。

今後については、運行時間を短縮し速達性を向上していく必要があると考えております。

また、ルートの廃止については、協議・検討するための要件などについて考えていきたいと思っております。

（委員）

中央公民館を通るルートについては運行を継続すると伺いました。中央公民館に関しては、橋の入口が狭く、バスが通る際に事故が発生する可能性もあるという話があったと思います。

この点についても運行事業者と確認のうえ、問題ないという結論になったのでしょうか。

（事務局）

中央公民館への乗り入れについては、道幅が狭く、利用者も少ないという点を踏まえて見直しをいたしました。一方で、中央公民館をご利用されている方はご高齢の方が多く、隣のバス停から歩くとなるとご負担が大きいとの声を多数いただきました。

また、中央公民館が公共施設であるという点も踏まえ、現状では運行を継続することとしました。その中で運行事業者とも協議し、改めて運行の安全について確認しているところです。

(委員)

駅への乗り換え時間を重視されての運行ダイヤ編成であると思いますが、交通事情等で駅への到着時刻が多少遅れることはあると思います。

このような場合にも、電車への乗り換えに間に合うような運行ダイヤであるのでしょうか。

バスの遅延で電車に乗り遅れてしまうと、次の電車を待つのに30分かかると言うことが良くあると思います。

一度、運行ダイヤを編成した後に改訂するのは難しいことであると思うのでお聞きしたいです。

(事務局)

今回の再編案の運行ダイヤでは、駅に到着した後、何分後に電車が発車するのかという時間については、各便によって異なっており、鉄道の発車時刻の何分前といった統一した運行ダイヤは想定しておりません。

また、突発的な交通事故や渋滞が発生した際にどれだけ遅れが出るのかを推測することは難しいと考えており、恒常的な遅延が発生しないよう、ダイヤ編成を行っております。

(委員)

徳永委員、三上委員、浦川委員におかれましても、他市にてコミュニティバスを運行されていらっしゃると思います。そのような視点から何かご意見等がありますでしょうか。

(委員)

お客様にバスを快適に乗っていただくには、電車への乗り換え時刻に考慮することは大切です。ただ、上りの時刻に合わせるのか、もしくは下りの時刻に合わせるのかという点で、ご要望は分かれると思います。このあたりの設定が非常に難しいところだと思います。

(事務局)

JR成田線木下駅については、上り便と下り便がほぼ同時刻で発車するので、運行ダイヤは比較的合わせやすかったのではないかと思います。

(委員)

鎌ヶ谷市内にてコミュニティバスを運行しております。電車との接続ももちろん大切ですが、バスの他ルートとの接続のご要望が利用者から多く感じます。特に鎌ヶ谷市内は渋滞が多いので、もし遅延が発生すると、他ルートとの接続が出来ないということが発生します。

この点に関して、駅等への接続のあそびのある時間、いわばバスが待機できる時間をうまく作れると、乗り継ぎにもうまく対応できるようになると思います。

(委員)

佐倉市のコミュニティバスを運行しております。酒々井駅とユーカリが丘駅を中心に運行しております。ダイヤ編成に関して検討したのは、午前中の便は上り方面になるべく乗れるように、反対

に夕方便については下りの電車に合わせるような形でダイヤを作りました。  
それでもやはり渋滞等で遅延は発生するので、難しいところではありますが、この考え方を基にしたダイヤで運行を続けております。

(委員)

酒井委員、運行されている中で、何かご意見等ありますでしょうか。

(委員)

印西市のふれあいバスは、どこのバス停でも乗り継ぎが許されており、かなり優遇されていると思います。乗り継ぎが上手くできるバス停については、お客様が詳しく知っているようなことも良くあります。他市のコミュニティバスを参考にすると、乗り継ぎができるバス停を指定しても良いのではないかと思います。

(委員)

伊藤委員、何かご意見等ありますでしょうか。

(委員)

パブリックコメントの結果をみさせていただきましたが、これだけ多くのご意見をいただいたということは、それだけふれあいバスは多くの方々に関心を寄せていただけている、またご利用いただけているのだと思います。

バスの運行にあたっては、住宅が密集している地域とそうではない地域で2分化しております。その中で、都市部や商業施設へ移動するにあたって、どちらの地域からでもアクセスできるようなルートを考慮いただいたと思います。

また、一部ルートの廃止についても検討いただきましたが、既存のルートをどのように残していくのが一番良いかということを苦慮しながら協議していただいていることが良くわかり、実のあるような内容であると感じました。

(委員)

事務局より何かご意見等ありますでしょうか。

(事務局)

皆様方からたくさんのご意見をいただきましたが、電車の発車時刻すべてに合わせたバスの運行ダイヤの設定は非常に難しい状況です。

ふれあいバスの運行はルート毎に専用車両が確保できているわけではございません。現在利用できる車両を最大限効率よく活用するため、例えば東ルートの1便を回った便が、次に同ルートの2便に行くのではなく、中ルートの3、4便等に跨ぐような形で運行をしております。

特定の時間に運行ダイヤを合わせようとする、別の場所の時間が、都合が悪くなるということが発生してしまうなど、難しいダイヤ設定の中で、運行事業者様に設定いただきました。ルート数と車両台数については、7ルート10台で運行を予定しております。

(委員)

太田委員何かご意見等ありますでしょうか。

(委員)

今回、市民の皆様からたくさんのご意見をいただきました。

また、印西市様からの意見、そして運行事業者としての意見等、幅広いご意見を最大限反映した運行ダイヤ設定いたしましたので、皆様からご審議いただきたいと思います。

(委員)

他にご意見、ご質問等がありますでしょうか。

**【意見なし】**

(委員)

それでは、協議事項（１）ふれあいバス再編については、事務局の案の通りにご承認いただくということでよろしいでしょうか。

**【承認】**

(委員)

協議事項（１）につきましては承認といたします。

以上で、次第４、協議事項を終了いたします。進行を事務局にお返しいたします。ご協力ありがとうございました。

(事務局)

本日、ご審議いただきました案を６月２５日開催の印西市地域公共交通会議にて協議させていただきます。その際には、時刻表を合わせてご提出いたしますので、現在の時刻表を再度精査いたしまして、６月２５日の本会議にパブリックコメントの結果と合わせ、最終案として提出していきたいと思っております。

その後、９月の定例議会に予算を上程するとともに地域公共交通会議終了後には市民の皆様の結果としてルート及び時刻表の公表をしていきたいと考えておりますのでご理解いただきたくお願いいたします。

## 5 その他

(事務局)

それでは続きまして、次第５、その他でございますが、委員の皆様から全体を通して何かありますでしょうか。

**【意見なし】**

## 6 閉会

(事務局)

それでは長時間にわたりましたが、以上を持ちまして本日の会議を終了します。皆様ありがとうございました。

令和7年度第1回ふれあいバス運行検討分科会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和7年6月20日

委員 酒井 保治  
浦川 真一